

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2002-059692
 (43)Date of publication of application : 26.02.2002

(51)Int.CI. B43L 19/00
 B65H 35/07

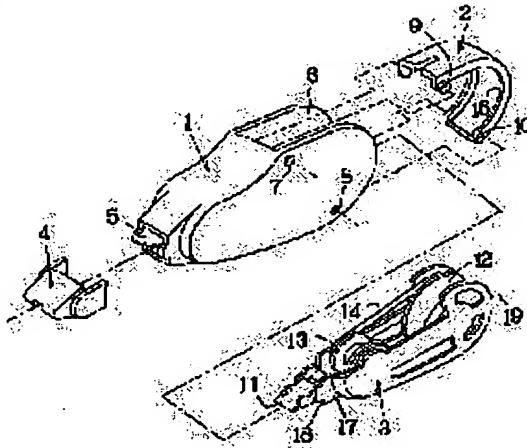
(21)Application number : 2000-251915 (71)Applicant : MITSUBISHI PENCIL CO LTD
 (22)Date of filing : 23.08.2000 (72)Inventor : ISODA TAKASHI

(54) TRANSFERRING TOOL FOR CORRECTION TAPE, ADHESIVE TAPE OR THE LIKE

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a transferring tool for a correcting tape, an adhesive tape or the like, which has merits such as no anxiety of the attaching and detaching of a transferring tape and its easy exchanging work and with which the recycling properties of a casing part can be enhanced.

SOLUTION: The transferring tool consists of a hollow case main body providing opening parts at both its front and rear ends, a lid body, one end of which is pivotally connected through a hinge mechanism to the case main body so as to make the rear end opening part of the case main body openable and closable and, at the same time, the other end of which is made to be engageable with the case main body, and an exchangeable cartridge, at the front end of which a transferring head is provided and, at the rear of the transferring head, which integrally holds both the feeding reel of the transferring tape and the recovering reel of used tape and then which is inserted through the rear opening part of the case main body so as to allow to expose the transferring head to the front opening part of the case main body and, at the same time, to allow to be taken through the rear end opening part outside of the case main body in order to be attachable to and detachable from the case main body.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2002-59692

(P2002-59692A)

(43)公開日 平成14年2月26日 (2002.2.26)

(51)Int.Cl.
B 43 L 19/00
B 65 H 35/07

識別記号

F I
B 43 L 19/00
B 65 H 35/07

テ-マ-ト (参考)
H 3 F 0 6 2
D

審査請求 未請求 請求項の数3 O L (全5頁)

(21)出願番号 特願2000-251915(P2000-251915)

(22)出願日 平成12年8月23日 (2000.8.23)

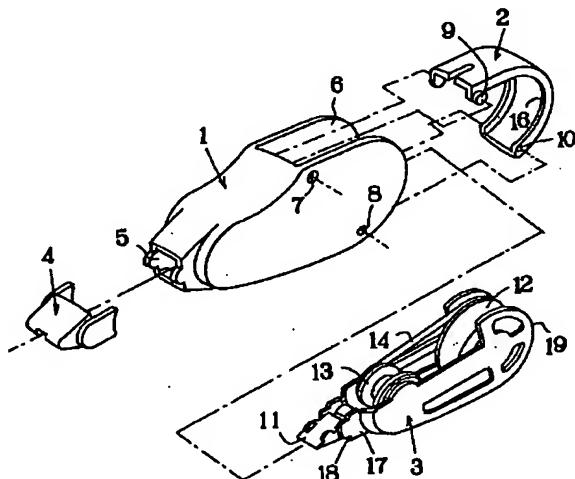
(71)出願人 000005957
三菱鉛筆株式会社
東京都品川区東大井5丁目23番37号
(72)発明者 磯田 隆史
神奈川県横浜市神奈川区入江2丁目5番12
号 三菱鉛筆株式会社横浜事業所内
(74)代理人 100060896
弁理士 杉山 泰三
F ターム (参考) 3F062 BA04 BB01 BF03

(54)【発明の名称】 修正テープや粘着テープ等の転写具

(57)【要約】

【課題】 転写テープを脱着するという煩わしさがなく
て交換作業が楽であるという利点があり、かつ、筐体部
分のリサイクル性を高めることができる修正テープや粘
着テープ等の転写具を提供する。

【解決手段】 前後両端に開口部を設けた中空のケース
本体と、そのケース本体にヒンジ機構で一端を回動自在
に連結してケース本体の後端開口部を開閉自在とする
とともに他端をケース本体に対し係止可能とした蓋体と、
前端に転写ヘッドを設けるとともにその後方に転写テー
プの供給リールと使用済みテープの回収リールを一体に
保持してケース本体の内部へその後端開口部から挿入し
て転写ヘッドをケース本体の前端開口部において露出可
能になすとともに同じく後端開口部からケース本体の外
部へ取出可能としてケース本体に対し脱着自在とした交
換可能なカートリッジとを具えてなる。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 前後両端に開口部を設けた中空のケース本体と、そのケース本体にヒンジ機構で一端を回動自在に連結してケース本体の後端開口部を開閉自在とともに他端をケース本体に対し係止可能とした蓋体と、前端に転写ヘッドを設けるとともにその後方に転写テープの供給リールと使用済みテープの回収リールを一体に保持してケース本体の内部へその後端開口部から挿入して転写ヘッドをケース本体の前端開口部において露出可能になすとともに同じく後端開口部からケース本体の外部へ取出可能としてケース本体に対し脱着自在とした交換可能なカートリッジとを具えてなる修正テープや粘着テープ等の転写具。

【請求項2】 ケース本体の前端内面部と蓋体の内面部にそれぞれカートリッジを前後から挟んで固定することによりカートリッジをケース本体に対し位置決め可能とする支持部を設けた請求項1記載の修正テープや粘着テープ等の転写具。

【請求項3】 ケース本体又は蓋体の一方に孔部又は凹部を設けるとともに他方にその孔部又は凹部に回動自在に嵌合する凸部を設けることによりヒンジ機構を構成するとともに、同じくケース本体又は蓋体の一方に孔部又は凹部を設けるとともに他方にその孔部又は凹部に係合可能な凸部を設けることによって蓋体をケース本体に対し係止可能とした請求項1又は請求項2記載の修正テープや粘着テープ等の転写具。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は修正テープや粘着テープ等の転写具、すなわち、ベーステープに修正剤や粘着剤の塗膜を形成してなる転写テープを使用して、その転写テープの塗膜を紙面等に転写可能とする装置に関する。

【0002】

【従来の技術】この種の一般的な転写装置は、ケースの内部に転写テープの供給リールと使用済みテープの回収リールを内蔵するとともに、ケースの一端に設けた孔部において露出させる転写テープの一部を紙面等に押し付ける転写ヘッドをケースに装着した構造になっている。

【0003】そして、ケースをリサイクルするために、ケースを分割して開閉自在となすことにより転写テープだけを交換可能としたものが特開平8-310714号公報等により公知である。しかしながら、転写テープの脱着が煩わしくて、交換作業が面倒であるという不満がある。

【0004】これに対し、一端に転写ヘッドを設けるとともに転写テープの供給リールと使用済みテープの回収リールも一体に保持したカートリッジを構成して、そのカートリッジをケース本体に対し脱着自在としない、そのカートリッジを交換可能としたものが特許公報第28

69855号等により公知である。これは、転写テープを脱着するという煩わしさがなくて、交換作業が楽であるという利点があるが、カートリッジをケースに内蔵した状態でそのケースの開口部を塞ぐ蓋部をカートリッジに一体に設けているので、カートリッジを交換する場合にケースの蓋部も廃棄されることになって筐体部分のリサイクルが不充分であるという不満がある。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】そこで本発明は上記の不満を解消すること、すなわち、転写テープを脱着するという煩わしさがなくて交換作業が楽であるという利点があり、かつ、筐体部分のリサイクル性を高めることができる修正テープや粘着テープ等の転写具を提供することを課題とする。

【0006】

【課題を解決するための手段】上記の課題を解決するために本発明の修正テープや粘着テープ等の転写具は、前後両端に開口部を設けた中空のケース本体と、そのケース本体にヒンジ機構で一端を回動自在に連結してケース本体の後端開口部を開閉自在とともに他端をケース本体に対し係止可能とした蓋体と、前端に転写ヘッドを設けるとともにその後方に転写テープの供給リールと使用済みテープの回収リールを一体に保持してケース本体の内部へその後端開口部から挿入して転写ヘッドをケース本体の前端開口部において露出可能になすとともに同じく後端開口部からケース本体の外部へ取出可能としてケース本体に対し脱着自在とした交換可能なカートリッジとを具えてなる、という構成を探るものである。

【0007】なお、カートリッジをケース本体に対し脱着自在にすると、ケース本体に対するカートリッジの固定手段と位置決め手段を設ける必要があり構造が複雑化する弊害がある。そこで、この弊害を解消するために、上記の本発明の修正テープや粘着テープ等の転写具は、ケース本体の前端内面部と蓋体の内面部にそれぞれカートリッジを前後から挟んで固定することによりカートリッジをケース本体に対し位置決め可能とする支持部を設けることが好ましい。

【0008】また、ケース本体に蓋体をヒンジ機構で回動自在に連結する場合、一般的なヒンジ機構はケース本体の外側に配置されるので、ケース本体を手で包み込むように握った場合にヒンジ機構が手の平に当たって違和感があるという使用上の不満がある。また、蓋体をケース本体に係止するために鉤爪等を設けると、成形が困難化するという弊害がある。そこで、このようなデメリットを解消するために、上記の本発明の修正テープや粘着テープ等の転写具は、ケース本体又は蓋体の一方に孔部又は凹部を設けるとともに他方にその孔部又は凹部に回動自在に嵌合する凸部を設けることによりヒンジ機構を構成するとともに、同じくケース本体又は蓋体の一方に孔部又は凹部を設けるとともに他方にその孔部又は凹

部に係合可能な凸部を設けることによって蓋体をケース本体に対し係止可能とすることが好ましい。

【0009】

【発明の実施の形態】以下、図を用いて本発明の実施の形態について説明する。まず、図1は分解した状態を示したものである。すなわち、本発明の修正テープや粘着テープ等の転写具は、ケース本体1と、蓋体2と、カートリッジ3と、キャップ4とによって構成することができる。

【0010】ケース本体1は前端に小さな開口部5を設けるとともに、後端に大きな開口部6を設けた中空体で、プラスチックにより成形することができる。このケース本体1は後端の開口部6における一端の近傍の側面に蓋体2を連結するためのヒンジ機構を構成する孔部7又は凹部を設けるとともに、開口部6の他端近傍の側面にも蓋体2の係止機構を構成する孔部8又は凹部を設けるものとする。

【0011】蓋体2はケース本体1における後端の開口部6を塞ぐことができる形状及び大きさを有し、ケース本体1と同様にプラスチックで成形することができる。この蓋体2は一端の側面に上記ケース本体1に設けた孔部7又は凹部に回動自在に嵌合することによって同孔部7又は凹部と共にヒンジ機構を構成する凸部9を設けるものとする。なお、逆に、孔部7又は凹部を蓋体2に設けて、凸部9をケース本体1に設けることも可能である。また、蓋体2の他端の側面には上記ケース本体1に設けた孔部8又は凹部に係合可能で同孔部8又は凹部と共に蓋体2の係止機構を構成する凸部10を設けるものとする。なお、この場合も、孔部8又は凹部を蓋体2に設けて、凸部10をケース本体1に設けることも可能である。これにより、蓋体2はケース本体1の後端開口部6を開閉自在であり、その後端開口部6を閉じた状態でケース本体1に係止可能である。

【0012】カートリッジ3は前端に転写ヘッド11を設けるとともに、その後方に転写テープ(図示せず)の供給リール12と使用済みテープの回収リール13を一体に保持するものとする。なお、このカートリッジ3は転写テープを除きプラスチックにより成形することができる。転写テープはプラスチックフィルム製のベーステープの片面に修正剤や粘着剤の塗膜を形成して、その塗膜を紙面等に転写可能としたものである。この転写テープは供給リール12から転写ヘッド11に送られて、同転写ヘッド11により紙面等に押し付けられることにより紙面等に塗膜を転写してから回収リール13に巻き取られることになる。供給リール12と回収リール13は、図示したベルト14やギアなどを介して回転を伝達可能とする。すなわち、供給リール12と回収リール13は連動して回転させる。

【0013】カートリッジ3はケース本体1の内部に後端開口部6から挿入する。そして、カートリッジ3の前

端の転写ヘッド11をケース本体1の前端開口部5において露出させる。カートリッジ3はケース本体1の内部で位置決めして固定する必要がある。そのため、ケース本体1の前端内部と蓋体2の内部にそれぞれカートリッジ3を前後から挟んで固定することによりカートリッジ3をケース本体1に対し位置決めする支持部15, 16を設けるものとする。また、カートリッジ3の枠板17等の前端部と後端部にそれぞれ上記の支持部15, 16に密着する当接部18, 19を設ける。

【0014】キャップ4はケース本体1の前端開口部5から露出した転写ヘッド11を不使用時にカバーするためのものであり、ケース本体1の前端箇所に開口部を覆うように脱着自在とする。このキャップ4も上記のケース本体1や蓋体2と同様にプラスチックで成形することができる。

【0015】カートリッジ3の転写テープを使い切ったらカートリッジ3ごとケース本体1から取り出して廃棄することになるが、ケース本体1、蓋体2及びキャップ4はリサイクル可能である。すなわち、新しいカートリッジ3と同じケース本体1に再び装着して、同ケース本体1、蓋体2及びキャップ4を再利用することができる。

【0016】

【発明の効果】請求項1記載の本発明の修正テープや粘着テープ等の転写具は、転写テープがカートリッジに保持されていて、カートリッジごと交換するので、転写テープを脱着するという煩わしさがなくて交換作業が楽であるというメリットがあり、かつ、ケース本体及び蓋体は再利用が可能なので筐体部分のリサイクル性が高いというメリットもある。

【0017】また、請求項2記載の本発明の修正テープや粘着テープ等の転写具は、上記の請求項1記載の修正テープや粘着テープ等の転写具が奏する効果に加えて、ケース本体の前端内部と蓋体の内部にそれぞれカートリッジを前後から挟む支持部を設けるだけで、カートリッジをケース本体の内部に位置決めして固定することができるので、位置決め及び固定手段の構造をシンプルにして製造コストを抑えることができるというメリットがある。

【0018】また、請求項3記載の本発明の修正テープや粘着テープ等の転写具は、上記の請求項1又は請求項2記載の修正テープや粘着テープ等の転写具が奏する効果に加えて、ケース本体又は蓋体の一方に孔部又は凹部を設けるとともに他方にその孔部又は凹部に回動自在に嵌合する凸部を設けることによりヒンジ機構を構成するとともに、同じくケース本体又は蓋体の一方に孔部又は凹部を設けるとともに他方にその孔部又は凹部に係合可能な凸部を設けることによって蓋体をケース本体に対し係止可能としたので、一般的なヒンジ機構のようにケース本体の外側に配置されてケース本体を手で包み込む

ように握った場合にヒンジ機構が手の平に当たるようないふてなくして使用上の違和感がないというメリットがあり、また、蓋体をケース本体に係止するため釣爪等を設ける必要がないので成形が容易であるというメリットがある。

【図面の簡単な説明】

【図1】分解斜視図である。

【図2】側面図である。

【図3】平面図である。

【図4】図2のA-A線における断面図である。

【図5】図3のB-B線における断面図である。

【図6】蓋体を開いた状態を示す断面図である。

【図7】カートリッジを交換する状態を示す断面図である。

【符号の説明】

1 ケース本体

2 蓋体

* 3 カートリッジ

4 キャップ

5 開口部

6 開口部

7 孔部

8 孔部

9 凸部

10 凸部

11 転写ヘッド

10 12 供給リール

13 回収リール

14 ベルト

15 支持部

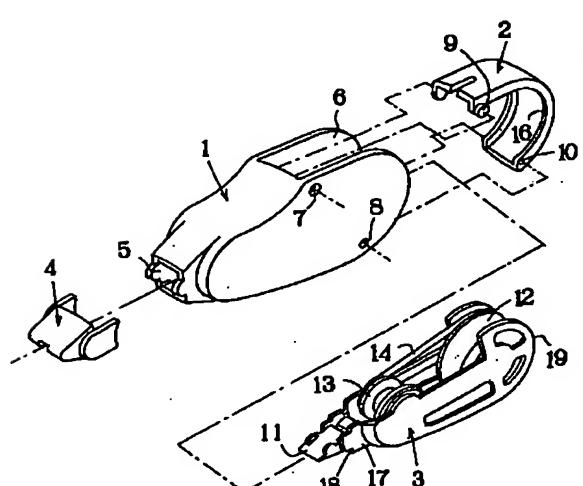
16 支持部

17 梱板

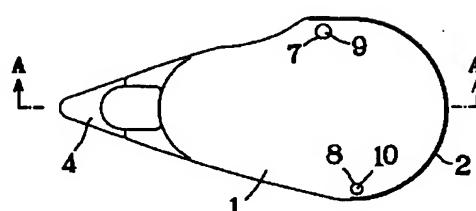
18 当接部

* 19 当接部

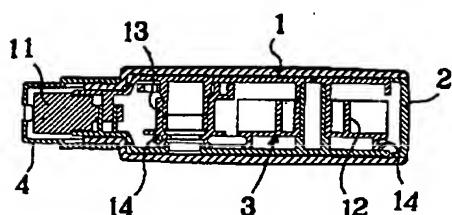
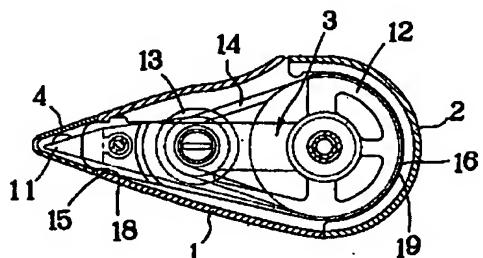
【図1】



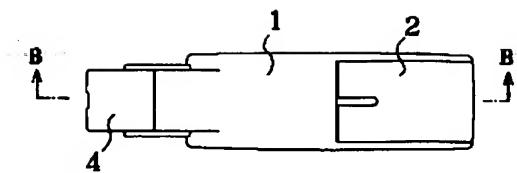
【図4】



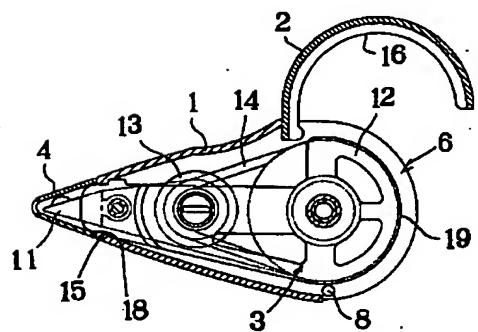
【図5】



【図3】



【図6】



【図7】

